

主な内容

- 2面 1月25日(火)からインターネットで各種申請や届け出ができます！
江戸川総合人生大学聴講生募集
- 4・5面 防災特集 大地震への備えは？
- 8面 対談！ 新成人と生涯現役！熟年経営者

■発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

建て替え・移転します！

施設・サービスも充実！

18年4月
オープン予定

葛西健康サポートセンター

葛西健康サポートセンター(中葛西2～8～3)は、18年4月、葛西区民館駐車場(中葛西3～10～1)に新しい施設を建設後、移転します。乳幼児健診や健康相談などのスペースを拡充し、地域のみなさんの健康づくりを促進する拠点として現在、準備を進めています。また、隣接する葛西区民館と一体的に利用することなどにより、コミュニティ機能も充実させていきます。

☎健康推進課計画係 ☎(5661)2463



■葛西区民館(左側)と2・3階の渡り廊下でつなぎ一体的に利用できます！

新施設の特長

- ◎明るく広い「子育て広場」を新設
授乳室や幼児用トイレを備えた親子の交流の場です。
- ◎「健康スタジオ」を新設
介護予防運動やリハビリなどの運動プログラムが実践できます。
- ◎広い集会室を新設
ハローベビー教室や、健康講座などを実施します。
- ◎相談窓口の充実
プライバシーに配慮した相談室を備え、介護や子育て、心や体の健康などの相談をすることができます。
- ◎多目的トイレの設置などトイレの充実
車椅子を利用の方や、オストメイト(人工肛門・膀胱を造設した方)も利用できる多目的トイレを設置。また、男性トイレにも赤ちゃんのオムツ替えシートなどを設置します。

地域に開かれた施設

新葛西健康サポートセンターの「健康スタジオ」「集会室」は、地域に開かれた施設として、土・日曜、夜間などに区民のみなさんが利用できるよう整備します。

今後の予定

17年4月着工

工事期間中は葛西区民館の駐車場が利用できなくなります。※滝野公園北側部分に仮設駐車場を設けますが、台数に限りがあるため車での来館はご遠慮ください。

18年3月完成

18年4月オープン

案内図



仕事をお探しの方へ

2月1日(火)

船堀ワークプラザ オープン！



■フルタイム・パートタイム・内職相談にきめ細かく対応！(ほっとワークえどがわ)

船堀ワークプラザは、ハローワーク(公共職業安定所)が運営する、職業の相談・紹介を行う施設で、2月1日にオープンします。これに伴い「東部区民館出張相談室」は1月末に終了します。なお、「ほっとワークえどがわ(江戸川区役所内)」「小岩区民館出張相談室(毎週金曜開設)」に変更はありません。
☎ ハローワーク木場 ☎(3643)8609

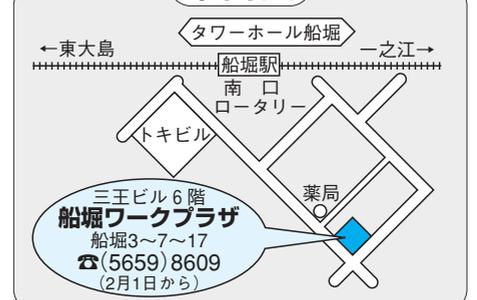
内容

- パソコン14台を使った都内・千葉県(一部地域)の求人情報の検索
- 求人票展示コーナー
- 職業相談・紹介 など

利用日時

月～金曜(祝休日を除く)
9時～17時

案内図



阪神・淡路大震災から10年。昨年は新潟県中越地震や海外でもスマトラ島沖大地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。そして今、東京直下型の地震や東海地震が、いつ起こってもおかしくないと言われています。

大地震は避けられませんが、被害を最小限に食い止めるためには、自分の身は自分で守る「自助」、互いに助け合い自分たちのまちを守る「共助」、区をはじめ防災関係機関の取り組みである「公助」の連携が重要です。

みなさんの災害に対する備えは万全ですか？ 防災対策を任せにはできません。災害に強いまちをみんなでつくっていきましょう。

☎ 防災課事業係 ☎ (5662) 2129

防災特集

そのときあなたは!!

大地震への備えは?



■いざというときのために、地域の防災訓練に参加しよう！(小松川・平井地区防災訓練)

地震が発生したら

命を守る!

まずは自分の身の安全

- テーブルの下などに身を隠し、けがをしないようにしましょう



家を守る!

家族・わが家の安全確認

- 家族の安全確保
- 火の始末・初期消火



まちを守る! 情報を得る!

隣近所の状況確認

- 協力し合って救出・救護
- けが人・行方不明者の有無、避難場所の確認など、みんなで助け合しましょう
- 防災行政無線やラジオなどの正しい情報で行動
- 災害用伝言ダイヤル「171」の活用(下欄参照)

暮らしを守る!

被災後の生活

- 衣・食の確保
- 地震発生後は食糧などの流通が途絶えます。2～3日分の衣類・食糧を用意しましょう

まちの復興

ライフラインなどの本格的な復旧活動の開始

- 住民と行政が協力しながら、まちの復興を進めます

災害時の安否確認に

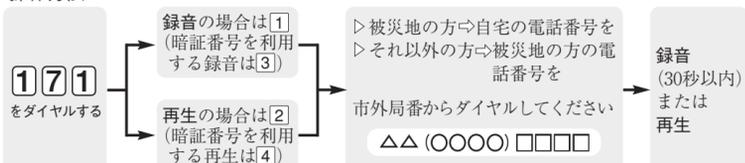
災害用伝言ダイヤル「171」



災害時は、膨大な数の電話が被災地に集中するため、電話がかかりにくくなります。このような状態でも、家族間で安否の確認や避難場所の連絡などの伝言を、簡単に録音・再生することができます。新潟県中越地震でも録音に12万件・再生に24万件利用されました。

毎月1日と防災週間(8月30日～9月5日)に体験利用ができます。

◆操作方法は…



*聞かれないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。
*伝言の保存は2日間、一つの電話番号につき最大10件の伝言が可能です。

自助 自分の家庭は自分で守ろう!

あなたの家でも日頃から点検を!

家族との話し合い	<input type="checkbox"/> 避難場所・経路の確認 <input type="checkbox"/> 救急医薬品・消火用具・非常持ち出し袋の用意・点検 <input type="checkbox"/> 幼児や熟年者の避難方法の確認 <input type="checkbox"/> 家族との連絡方法の確認	
家具の転倒防止	<input type="checkbox"/> 家具を壁に密着・固定する <input type="checkbox"/> 転倒防止器具は家具の大きさに合ったものを取り付ける <input type="checkbox"/> 寝室や子ども・熟年者がいる場所にはできるだけ大きな家具は置かない	
落下物の整理点検	<input type="checkbox"/> 高い所に物を置かない <input type="checkbox"/> 絵画・額縁などは落下防止対策を施す <input type="checkbox"/> 棚から物が飛び出さないように、さんや滑り止めを付ける <input type="checkbox"/> 食器戸棚などのガラス戸にはガラス飛散防止フィルムを貼る <input type="checkbox"/> 瓦・外壁タイルなどの点検・補修をする	
安全・迅速な避難	<input type="checkbox"/> 廊下や階段には物を置かず、広く開けておく <input type="checkbox"/> 隣の境や避難ハッチの前には物を置かず整理整頓 <input type="checkbox"/> エレベーターは使わず、階段で避難する	
家のまわり	<input type="checkbox"/> プロパンガスのボンベなどは倒れないように補強し、周囲に物を置かない <input type="checkbox"/> ブロック塀は生け垣にするか、安全対策を施す	
耐震チェックと補強	<input type="checkbox"/> 木造住宅の耐震チェックをし、必要に応じて耐震補強をする	
火災への備え	<input type="checkbox"/> 消火器の設置・使い方の確認 <input type="checkbox"/> 浴槽に常に水を張って消火用水を確保 <input type="checkbox"/> 外廊下の消火器配置場所の確認(集合住宅)	
水・食糧の備え	<input type="checkbox"/> お茶・ミネラルウォーター・ジュースなどの飲料水 <input type="checkbox"/> カセットコンロ・ガスボンベ <input type="checkbox"/> レトルト食品・カップ麺・缶詰など	

事業所でも…

施設内の安全点検の実施や、飲料水・食糧・医療品の用意など、災害に備えましょう。また、交通機関が止まった場合には、帰宅できない従業員が出てくることも想定されるため、その対応も必要です。



共助 地域ぐるみで防災活動を進めよう!

「まつりやイベントの盛んなまちは災害に強い」と言われます。阪神・淡路大震災では、「家の下敷きになったが、近所の人たちの手で救出された」「みんなでバケツリレーをして延焼を食い止めた」などと報告されています。

いざというときに地域の力を発揮するためには、日頃から顔の見える付き合いが大切です。区の行事や地域のおまつりなどに積極的に参加したり、普段から近所同士で声を掛け合うなど、地域の連帯感を高めていきましょう。

自主防災組織の強化

自主防災組織は、町会・自治会などで結成されています。定期的実施している地域での防災訓練などを通して、相互に連携・協力できる態勢を強化しましょう。



■応急手当をみんなで確認!

災害要援護者

身体の不自由な人や乳幼児など、一人では消火や避難ができない人がいます。災害時に支援を要する人がどこにいるのかを把握し、地域ぐるみで支援できる態勢をあらかじめ決めておきましょう。



地域の防災点検

街角の消火器や防災無線などは災害時に役立ちますが、老朽化したブロック塀や看板、違法駐車・迷惑駐輪は緊急車両の通行や避難の妨げとなります。このように、地域を防災の視点から点検しましょう。

人材の把握

医師・看護師・薬剤師や救命救急の資格取得者、また救助の機材を扱える人など、特定の技能を持った人をあらかじめ把握し、必要に応じて協力を求められるようにしましょう。

公助 区の防災対策 ~被害の予防や拡大防止のために~

- 安全で災害に強いまちづくり(土地区画整理事業、木造住宅密集地域の改善、道路や公園などの都市基盤整備)
- 避難所(小学校など236か所)・一時避難場所(公園など419か所)の整備
- 消火器の地域配備(約5,700本)
- 防災行政無線の整備(256か所)

- 耐震コンサルタント派遣制度
- 飲料水・備蓄物資の確保(全区民の約14日分の飲料水、食糧・生活必需品・防災資機材)
- 総合防災訓練の実施
- 災害時応援協定の締結(26の関係団体)

災害時支援ボランティア募集中!

消防署では、都内で地震災害などが発生した際に、応急手当・消火・救出作業などの消防活動を支援して下さる方を募集しています。

☎ 18~64歳の健康な方 ☎ 区内各消防署へ





面積	49.09km ²	17年1月1日現在
総人口	657,292人	(前月比 17増)
	(男性 334,474人 女性 322,818人)	
うち外国人登録者数	19,557人	(前月比 14減)
世帯	287,322世帯	(前月比 41減)

発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>



羽鳥 圭さん (大学生・北小岩)

本当に範囲が広い。小学校で英語を習ったり、パソコンの授業があったりして、うらやましいですね。

羽鳥 当然のことだと思っていたのですが、私たちは幅広い選択肢の中

20歳を迎えたお気持ちは？

羽鳥 昨年7月の参議院議員選挙に投票に行ったときに成人ということを実感しました。

北爪 将来の進路を決めていく中で、成人として自ら判断しなくてはならないところに責任を感じています。

大野 私の若い頃はほとんど自由がありませんでした。五男坊でしたが、兄たちが戦争で軍隊に召集され、残された私が農業に従事しました。それに比べて今は、選べる進路も、学べる学問も、

から好きな分野を選んで勉強できて幸せなのですね。

北爪 私の家は祖父の代・父の代と家業を続けてきたのですが、両親からは好きなことをやりなさいと言われていました。自分で生き方を選べることに感謝しています。



大野さんの20歳の頃は？

大野 ちょうど20歳になったときに徴兵され海軍に入りました。学徒出陣の時代で、小学校の友達の半分は太平洋戦争で命を落としました。

羽鳥 私には想像もできませんが、過酷な時代だったのですね。

大野 ただ、その頃の若者には希望がなく、みじめだったかという、そうではありませんでした。「国のために」という目標が私たちの支えで、一生懸命でしたね。

対談！ 新成人と

生涯現役！ 熟年経営者



23区で平均年齢が最も若く、活気あふれる江戸川区。新たに6,697人が新成人となりました。

今回は、新成人になった羽鳥圭さんと北爪佑美さん、83歳の現在も区内企業の経営者として活躍されている大野房之助さんに、「新成人」をテーマにそれぞれの思いを語っていただきました。

子どもの頃の様子？

羽鳥 幼い頃は、北小岩に住んでいたので江戸川の河川敷で虫とりなどをしてよく遊びましたね。児童会活動にも積極的に参加しました。また、高校生のときには生徒会長をしていました。団体をまとめる貴重な経験ができ、その経験は今の自分に生きています。

北爪 私も、中学・高校時代に生徒会の会長や副会長を務めました。また、養護施設で障害を持った方の介助のボランティアをして、ほかの人のために何かをするということの大切さを学びました。

大野 私は、学校で生徒会長はしていませんでしたが、近所でガキ大将をしていました(笑)。

企業の経営者・リーダーとしての心構え

北爪 大野さんは、ガキ大将という小さい組織のリーダーから、企業の経営者や様々な大きな組織の会長まで、ずっとトップに立ってこられたのですね。どうすればそういったリーダーになれるのですか？

大野 私は最初から、石油業の社長をしていたわけではありません。いい先輩・いい友達が大きくなってくれたお陰で、いつの間にか会社の社長になってしまったのです。自分の力だけというわけでは決してありません。

また、実は好きでやってきたわけでもないのです。頼まれて、断れないで、仕方なく引き受けていくうちにこうなってしまったのです。お金や名誉のためにやろうと思ったら続きません。「奉仕するんだ」という精神で続けることで人がついてくるし、信頼関係が生まれるのです。



大野 房之助さん (会社経営・東小松川・83歳)

新成人へのメッセージを

大野 巨人の長嶋終身名誉監督もプロでのデビューは4打席4三振でした。それでもめげずに努力してあそこまでの名選手になったのです。若い頃は1回や2回失敗しても何とかあります。若いみなさんには失敗しても決してくじけずに頑張ってもらいたいです。それから、自分の言ったことを守り通してほしい。これも大切なことです。

将来の夢・目標は？

北爪 大野さんの話を伺い、意志の強さが大事だと感じました。言葉で言うのは簡単ですが、言ったことを強い意志を持ってやり通す。それが周りの人からの信頼にもつながるのだと思います。私も目標を実現するために、有言実行で頑張ります。大学では、総合型地域スポーツクラブなどについて学んでいます。これは、スポーツの指導を地域の力を生かしながらやっというものです。将来は、今勉強していることを生かして、学校の先生になりたいと思っています。

羽鳥 私も、自分の意志「やりたいこと」を持って、これからも努力し、実行していきたいですね。私は今、「学校と地域の関係」や「コミュニティスクール」など教育について研究しています。学校選択制や、すすくスクールなどの様々な地域を生かした施策など、江戸川区の教育への先進的な取り組みにも興味があります。将来は、研究者・政治家・現場の教師など様々な選択肢が考えられますが、「よりよい教育」の実現のために、最もよい職業を選択していきたいと思っています。



北爪 佑美さん (大学生・平井)



はばたけ新成人！